社会資本総合整備計画　事後評価書

平成28年7月2日

計画の名称	1　藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画（街なか居住環境再生）		
計画の期間	平成22年度　～　平成25年度　（4年間）	交付対象	藤枝市

計画の目標

『少子高齢社会、低炭素社会に対応・貢献し、安全・安心に集い・住まい・交流するまちの実現』

計画の成果目標（定量的指標）

・藤枝市の中心市街地における歩行者通行量を5,509人（H21）から8,500人（H25）に増加させる
・藤枝市の中心市街地における公共施設利用者数を685,666人（H20）から1,000,000人（H25）に増加させる

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（当初）	中間目標値	最終目標値（H25末）	備考
①中心市街地内の4地点（駅北2地点、駅南2地点）の休日1日あたり(12時間)の歩行者通行量を測定する	5,509人(H21)		8,500人	
②中心市街地内の公共施設5施設（藤枝市文化センター、藤枝市民体育館、藤枝市武道館、静岡県武道館、藤枝市立駅南図書館）の年間利用者数を調査する	685,666人(H20)		1,000,000人	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	173百万円	A	142百万円	B		C	31百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	17.92%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

・「中心市街地の活性化に関する法律（H10年法律第92号）」「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針（H18.9.8閣議決定）」に基づき、認定中心市街地活性化基本計画フォローアップにて実施。フォローアップ結果は、内閣総理大臣に報告し、政府より公表。
・上記同法律に基づき設立した中心市街地活性化協議会や庁内組織である中心市街地活性化推進委員会にて評価。

事後評価の実施時期

・平成26年6月

公表の方法

・内閣府ホームページにて公表

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅北口・日の出町地区基本計画等策定等事業	計画コーディネート	■	■			47	
1-A1-2	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目８街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート			■		3	
1-A1-3	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目８街区市街地再開発事業	敷地の共同化・1.2ha			■	■	57	
1-A2-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅前一丁目６街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート	■		■	■	35	
										合計		142	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
												合計			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
1-C-1	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	住環境再生まちづくり推進事業	重点地区啓発、駅前地区総合再生会議等	藤枝市		■	■		7	
1-C-2	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	エコ・コンパクトシティ構想策定業務	構想案の企画立案及び調整等	藤枝市			■		6	
1-C-3	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	藤枝駅前地区総合マネジメント事業	ｴﾘｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの推進及び啓発・ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ等	藤枝市				■	3	
1-C-4	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	中心市街地タウンプロモーション事業	情報発信及び道路空間活用事業	藤枝市				■	15	
												合計		31	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や各地区関係者による総合再生マネジメントを行い、安心に生活できる居住環境の改善や環境(エコ)に貢献するまちづくりを推進する。	
1-C-2	認定中心市街地区域での「エコ・コンパクトシティ」実現のため、中心市街地活性化協議会と伴に構想の企画立案及び調整等を行なうことにより環境（エコ）に貢献するまちづくりを推進する。	
1-C-3	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や駅前地区全体のエリアマネジメントを推進し、高品質な都市環境と都市ｻｰﾋﾞｽが提供されるまちづくりを推進する。	
1-C-4	広域的なまちの情報発信と市民活動・交流の場の創出による志太榛原地域の生活都心としての定住人口・来訪人口の増加。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・基幹事業の市街地再開発事業が完了していないが、効果促進事業等により来訪者が増加し、恒常的に歩行者が増えたことで回遊性やにぎわいが向上した。
・基幹事業の市街地再開発事業が完了していないが、効果促進事業と各施設の取り組み等により利用者数が増加し、来訪者の滞在時間も増え、活動・交流の活性化や賑わいが創出された。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①（歩行者通行量）	最終目標値	８，５００人	目標値と実績値に差が出た要因	効果促進事業のほか、認定中心市街地活性化基本計画に位置づけた事業（複合施設や業務施設整備などのハード事業や各種団体等によるイベントなどのソフト事業）が進んだため。
	最終実績値	８，９９８人 （平成２５年度）		
指標②（公共施設の利用者数）	最終目標値	１，０００，０００人	目標値と実績値に差が出た要因	中間評価（H25．12）の際には、効果促進事業や認定中心市街地活性化基本計画に位置づけた事業、各施設におけるソフト事業が進んでいることから、平成２３年度の実績値1,004,398人（平成２４年度実績値は特殊要件により不採用）を報告し、最終目標値の達成を見込んでいたが、図書館が入っている複合施設において、大規模リニューアル（テナント配置換え）や美容学校の開校などにより一部施設が利用できなかった影響や、県の施設における利用方針転換（広域的なイベント等よりも地域住民や市民活動を優先など）などによる利用者の減少により、最終目標値を達成できなかったと考察する。
	最終実績値	９６６，７３２人 （平成２５年度）		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

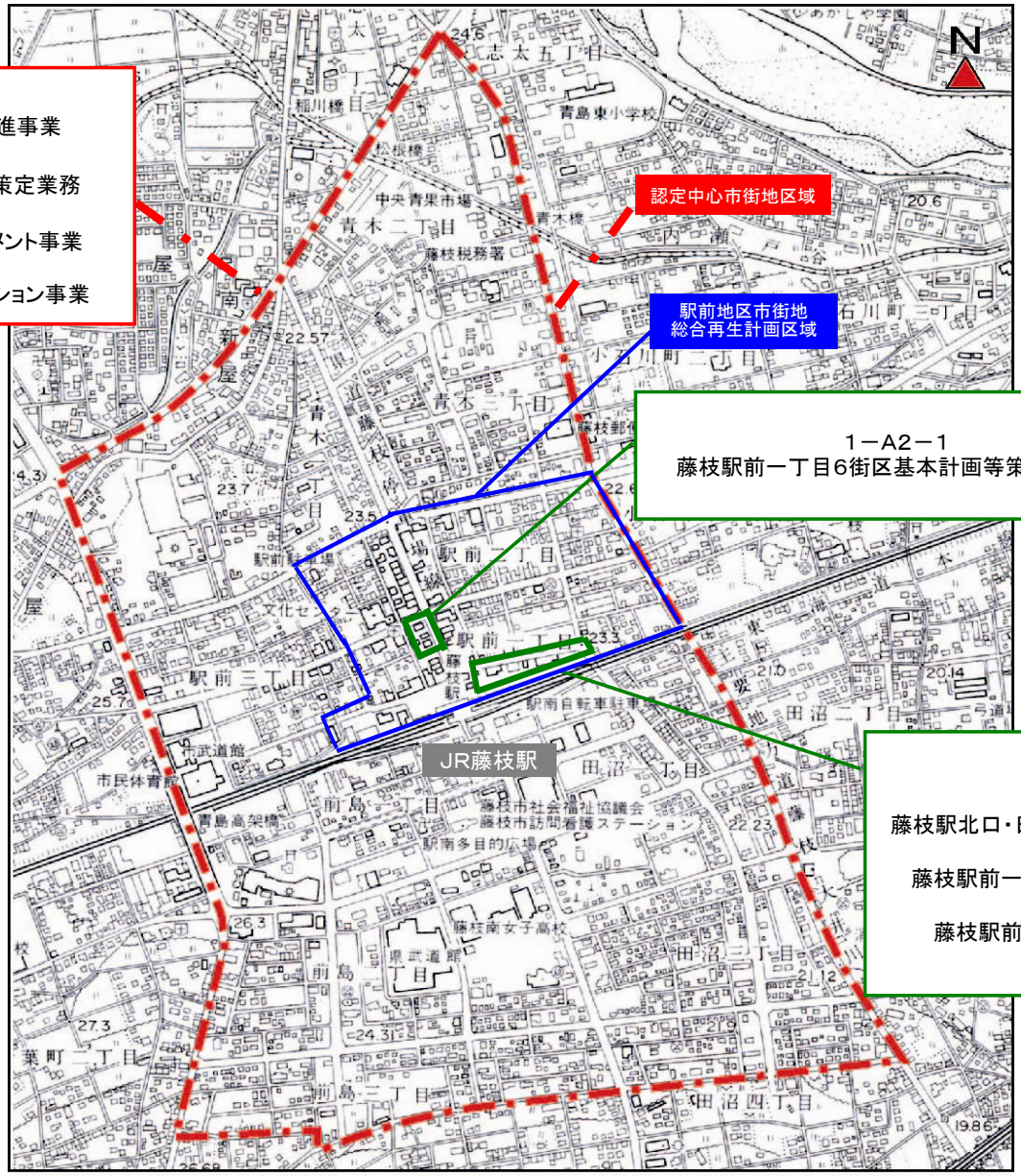
・効果促進事業や認定中心市街地活性化基本計画に位置づけた事業が進んだことにより、居住人口が大幅に増加。「住む場所」としてのブランド力が向上し、宅地やマンションの供給等民間投資が旺盛で販売も堅調。また、広域性や公益性の高い施設の立地や既存施設の機能拡充等が進んだことにより、広域拠点性や中核性が評価されている。

３．特記事項（今後の方針等）

・基幹事業の市街地再開発事業が、地権者の合意形成等に時間を要し完了していないため、次期計画に改めて位置づけ、上位計画である第２期中心市街地活性化基本計画に合わせた新たな目標の達成を目指す。
・指標②（公共施設の利用者数）については、第２期中心市街地活性化基本計画の補完指標として設定し、引き続き効果を検証していく。

（参考様式３）　　（参考図面）地域住宅支援

計画の名称	1　藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画（街なか居住環境再生）		
計画の期間	平成22年度　～　平成25年度　（4年間）	交付対象	藤枝市



１－Ｃ－１
住環境再生まちづくり推進事業
１－Ｃ－２
エコ・コンパクトシティ構想策定業務
１－Ｃ－３
藤枝駅前地区総合マネジメント事業
１－Ｃ－４
中心市街地タウンプロモーション事業

１－Ａ２－１
藤枝駅前一丁目６街区基本計画等策定等事業

１－Ａ１－１
藤枝駅北口・日の出町地区基本計画等策定等事業
１－Ａ１－２
藤枝駅前一丁目８街区基本計画等策定等事業
１－Ａ１－３
藤枝駅前一丁目８街区市街地再開発事業